

# 総務教育常任委員会資料

(平成23年1月21日)

## 〔件名〕

- ・「立ち向かうべき大きな政策テーマ」に対する意見募集の結果について  
【県政推進課】・・・1
- ・イオン株式会社からの大雪による被害に対する緊急復興支援金の贈呈  
及び緊急復興支援募金活動の実施について 【県政推進課】・・・3
- ・「鳥取県豪雪災害復興義援金」の募集について【県政推進課】・・・4
- ・平成22年度下半期における海外向け情報発信について  
【広報課】・・・5
- ・県が行っている広報についてのアンケート調査実施結果について  
【広報課】・・・6

統 轄 監

# 「立ち向かうべき大きな政策テーマ」に対する意見募集の結果について

平成23年1月21日  
県政推進課

県では平成23年度の予算編成において、「政策主導型予算編成システム」を導入し、政策主導の一環として政策戦略会議（知事・副知事・部局長で構成）で議論を行いました。現場とかけ離れた政策立案とならないよう県民の皆さまや現場の意見・アイデアを取り入れることを目的に、パブリックコメント及び県政参画電子アンケートを実施しました。

いただいた御意見は、平成22年12月15日に開催した「第3回政策戦略会議」での政策戦略事業の議論の参考とするとともに、各部局における政策戦略事業の予算要求の参考としています。

## 1 パブリックコメントの実施

ア 期間：平成22年11月5日から11月29日

イ 内容

県が新たに又は重点的に取り組むべき政策テーマあるいは具体的な事業・取組についての意見募集。

ウ 募集方法：

①県庁県民課、各総合事務所県民局、県立図書館、市町村役場の窓口に「募集チラシを配置。」

②鳥取県ホームページ「とりネット」の県政推進課のホームページに意見募集のページを掲載。

③その他：日本海新聞紙上に意見募集広告を掲載。（掲載日11月14日（日））

エ 回答：24件（17人）

## 2 県政参画電子アンケート調査

県民課が所管する県政参画電子アンケート※に登録している会員に対し電子アンケートを次のとおり実施した。

※県政参画電子アンケート＝あらかじめ登録した会員の方から、インターネットを通じて、県政に関する質問に回答いただく制度。

### (1) 概要

ア 対象：県政参画電子アンケート会員 283名

イ 期間：平成22年11月5日から11月18日

ウ 内容

県が重点的に取り組むべき分野、追加が必要と思われる政策テーマ又は具体的な事業の取組アイデアについての意見募集。

エ 回答：184名（回答率 65%）

### (2) アンケート結果の概要

ア 県が重点的に取り組むべき分野（複数回答）

・教育・人づくり・子育て・・・108人（22.1%）

・産業・雇用・・・93人（19.0%）

・福祉・医療・健康・・・68人（13.9%）

・文化・観光・交流・・・52人（11.2%）

・農林水産業・・・51人（10.4%）

・地域づくり・まちづくり・・・51人（10.4%）

・社会基盤整備・・・32人（6.5%）

・くらし・環境・・・32人（6.5%）

### 3 パブリックコメント等で県民から寄せられた主な意見（抜粋）

#### 【ひらく】…地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉を開く

##### ○円高基調にも対応できる産業の活性化

- ・数年先の鳥取県の産業力のために力を支え蓄えるための事業展開がほしい。
- ・他県を圧倒するレベルでの進出企業への優遇を提供する。

##### ○魅力的な農林水産業の再生

- ・農林水産業も若い就労者が生き生き働いていけるような新しい形態「鳥取モデル」を創出。
- ・「自給率100%、MADE IN TOTTORI」ブランドの推進。

##### ○B級グルメ・地域ブランド

- ・B級グルメで地元素材のご当地メニューを開発し、鳥取の町おこしとなるものをつくる。

##### ○ようこそようこそ鳥取県

- ・鳥取の文化を大切にして、継続できる地元の伝統、歴史に根付いたものの再構築をする。
- ・県内を巡るにはバスでは乗り継ぎ、待ち時間など不都合。県内で楽しんでもらうための整備が必要だと思う。
- ・鳥取らしさと魅力を感じる水族館、美術館の検討はどうか？

#### 【つなげる】…様々な活動・力をつなげ、結集して、持続可能で、魅力あふれる地域を創る

##### ○人口減社会への対応

- ・人口減少で団塊世代への取組みがありますが、若年層への働きかけをもっとしてほしい。
- ・日本一高齢者にとって憧れの県にして、高齢者移住を促進するための畑や林業を無償で貸与する。
- ・何も無いことを逆手に取った事を売り物にする。農山村、中山間部に終末医療施設、静かな余生での生活を希望される人達の有料老人ホームや一戸建て貸家等のエリアを構築し、先進医療県を目指す。

#### 【守る】…鳥取県の豊かな恵み・生活を守り、次代へつなぐ

##### ○環境配慮優先社会の形成

- ・県、市町村あるいは企業で熱負荷需要が有るところに竹、間伐材を燃料とした発電所を設置し安価なエネルギーを供給し活性化を図ると共に、荒れた山々を再生する。併せてマイクロ水力発電も検討する。

#### 【楽しむ】…いきいきと楽しみながら充実した生活を送る

##### ○スポーツのふるさと鳥取県

- ・ジュニアから成年期につながる一貫指導体制の構築をすることで、オリンピックや国体を始めとする各種全国大会等で活躍できる選手を多く輩出し、競技力向上につなげる。
- ・アスリート王国鳥取県と題して各町に存在する野球場や体育館の県外者への貸出、各種大会、ツアーの企画を行う。

#### 【支え合う】…お互いを認め、尊重して、支え合う

##### ○鳥取県型支え合いの仕組み

- ・鳥取県では「安心して自宅で人生の最後を迎えられる」という安心感を是非県民の方に抱いてもらえるような政策をお願いします。

#### 【育む】…時代に向けて躍動する「ひと」を育む

##### ○子育て王国鳥取県の実現

- ・子育ての経済的、精神的な負担感の軽減が必要。県に子育て支援センターを設置し、子育て支援をワンストップサービスで対応させる。

##### ○「学びと指導」の鳥取方式

- ・国際語としての英語教育の充実。

##### ○教育環境の充実

- ・実業高校のカリキュラムの充実と即戦力になるような教育。
- ・現在の鳥取県では人財が不足していると思う。人財の育成と蓄積が必要。

## イオン株式会社からの大雪による被害に対する緊急復興支援金の贈呈 及び緊急復興支援募金活動の実施について

平成23年1月21日  
県政推進課

イオン株式会社のグループ企業で構成され、環境保全・社会貢献活動を行っている「イオン1%クラブ」(委員長 原田昭彦) から、12月31日からの大雪による被害に対する緊急復興支援金300万円の寄附を受けました。

さらに、イオン株式会社のグループ企業であるイオンリテール株式会社(代表取締役社長 村井正平)と株式会社マイカル(代表取締役社長 松井博史)が中国、四国、近畿地区で運営する店舗では、緊急復興支援募金活動が行われています。

### 1 緊急復興支援金の受領

- (1) 日 時 平成23年1月11日(火)
- (2) 場 所 県庁第2応接室
- (3) 贈呈金額 300万円
- (4) 来庁者及び対応者

#### ①来庁者

- ・イオン1%クラブ 委員長 原田昭彦(イオン(株)取締役会議長)
- ・イオンリテール(株) 山陰事業部長 柏 成輝
- ・(株)マイカル 中四国営業部長 竹本 肇
- ・イオン1%クラブ 事務局長 友村自生

#### ②対応者

- ・副知事、統轄監、農林水産部長

※イオン1%クラブの支援に対する感謝の意として、知事名の感謝状を原田委員長に手交

#### (5) その他

島根県にも、本県と同様に緊急復興支援金が寄贈された。

### 2 大雪による被害への緊急復興支援募金活動

- (1) 実施期間 1月7日(金)～1月23日(日)
- (2) 実施店舗 中国、四国、近畿地区の店舗123店舗
- (3) 募金の寄贈 集まった募金は、支援金と同様に本県及び島根県に寄贈される予定

### 【参考】

#### ワンパーセント ○イオン1%クラブ

1989年に設立され、グループ優良企業各社が拠出した税引前利益の1%を使って、「環境保全」「国際的な文化・人材交流、人材育成」「地域の文化・社会の振興」を柱に活動

## 「鳥取県豪雪災害復興義援金」の募集について

平成23年1月21日  
県政推進課  
福祉保健課

平成22年12月31日から山陰地方を襲った記録的な大雪により、本県では、漁船の沈没や転覆、ビニールハウスの倒壊など甚大な被害を受けました。この豪雪により被災された農林水産業等に携わる方々等の復興の一助とするため義援金を募集します。

### 1 義援金の名称

鳥取県豪雪災害復興義援金

### 2 趣旨

平成22年12月31日からの豪雪により、多大な被害を受けた農林水産業者等の復興の一助とするため義援金を募集します。

集まった義援金については、鳥取県、社会福祉法人鳥取県共同募金会、社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会で構成される「鳥取県豪雪災害復興義援金配分委員会」に拠出します。義援金の配分については、義援金配分委員会において決定し、被害を受けられた県内の農林水産業者等に配分します。

### 3 受付期間

平成23年1月19日（水）から2月28日（月）まで

### 4 実施主体

鳥取県、社会福祉法人 鳥取県共同募金会

### 5 実施方法

#### (1) 募金箱の設置

【鳥取県】 県庁（県民課）・各総合事務所県民局・各県外本部

【共同募金会】 鳥取県共同募金会（鳥取県立福祉人材研修センター内）

#### (2) 口座振込み

名 義 等	金融機関	支 店 名	口座番号
【鳥取県】 鳥取県豪雪災害復興義援金 鳥取県福祉保健部長 林由紀子	山陰合同銀行	鳥取県庁支店	(普) 3627889
	鳥取銀行	鳥取県庁支店	(普) 0020146
【共同募金会】 社会福祉法人鳥取県共同募金会 ※「豪雪災害復興義援金」と明記	山陰合同銀行	湖山支店	(普) 3607893
	鳥取銀行	湖山支店	(普) 0003891

#### (3) 現金書留による送金

【鳥取県】 送付先：鳥取県福祉保健部福祉保健課

【共同募金会】 送付先：鳥取県共同募金会（鳥取県立福祉人材研修センター内）

## 平成22年度下半期における海外向け情報発信について

平成23年1月21日  
広 報 課

9月補正予算で措置された海外向け情報発信（5,000千円）の実施状況について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 目的、背景

韓国で放映が開始されたテレビドラマ「アテナ：戦争の女神」において、1月3日から本県で撮影された場面が多く登場している。これと連動させ、新聞、雑誌、インターネット等での情報発信を実施し、韓国内での本県の認知度向上を図ることを通じて、海外と本県を直接結ぶ航路・空路の活用による北東アジアゲートウェイとしての本県の発展に寄与する。

#### 2 内容

##### (1) NAVER（ネイバー、韓国向け）

ア 媒体概要：1999年からサービス開始。韓国で過半数のシェアを誇るインターネット検索ポータルサイト。

イ 時 期：1月（「アテナ」に鳥取県が登場する放映日から公開。（従量制））

ウ 展開内容：バナー広告及び鳥取県専用ページを作成し、鳥取県の歴史（妻木晩田遺跡・漂流朝鮮人之図・北東アジア交流）、自然（鳥取砂丘・浦富海岸）、温泉（三朝・皆生・はわい）、食（松葉がに・地酒）等を紹介。

エ 所要経費：1,250千円

##### (2) KTX（車内誌、韓国向け）

ア 媒体概要：KTX（=Korea Train eXpress）は2004年に開通。ソウル、慶州、釜山ほか主要都市を結ぶ高速鉄道。2009年の乗客数は、3,739.4万人。

イ 時 期：1～3月

ウ 展開内容：車内誌（座席前ポケット置き）への広告・記事掲載。発行部数7万部。  
〔1月発行号〕フルカラー2頁。鳥取県の紹介（内容は、NAVERに同じ。）及びモニターツアー参加者募集広告を掲載。  
〔2月発行号〕フルカラー6頁以上。鳥取県訪問取材（1月4～9日）に基づく記事を掲載。モニターツアー当選者発表。  
〔3月発行号〕モニターツアー参加者による旅行記を掲載。（予定）

エ 所要経費：2,750千円

##### (3) 毎日経済新聞（韓国向け）

ア 媒体概要：2009年の発行部数は、朝鮮日報（1,844,783部）、中央日報、東亜日報に続く4位（877,752部）。経済専門誌としては、1位。

イ 時 期：1月19日

ウ 所要経費：全5段カラー広告。米子-ソウル国際定期航空便と環日本海定期貨客船によって、韓国と近い鳥取県を訴求。

エ 所要経費：530千円

#### 3 その他

(1) 実施に当たっては、時期や内容について、国際観光推進課と連携した。

(2) 9月補正予算の執行残（470千円）は、当初予算の情報発信パワーアップ事業の執行残とあわせて執行する予定。

(3) 上記のほか、情報発信パワーアップ事業を活用して、次の情報発信も実施した。

ア ツイッター「トリピー」による韓国語によるつぶやき（国際観光推進課と連携して）

イ Eastern Dream号船内における電照広告看板の掲出。

ウ KTX鳥取県訪問取材の内容を月刊「Wine Review」「Wine and City」に掲載する予定。

## 県が行っている広報についてのアンケート調査実施結果について

平成23年1月21日  
広 報 課

「県政だより」をはじめとして、定期的に行っている広報事業について、県民の意識や要望を把握し、今後の参考とするため複数のアンケート調査を行いました。

### 1 調査の目的

- ・ 県政だよりについて、各コーナーの構成やページ数の仕様等に反映させる。
- ・ 新聞やテレビなど、各種の媒体を使った広報について、それぞれ掲載するテーマを選定する際の参考とする。  
また、世代別に適した広報媒体を把握し、それらに応じた広報手段を選択する際の判断材料とする。

### 2 調査結果の概要

#### (1) 県政だよりについて

- ・ 「毎回」又は「ときどき」読んでいる割合は、ほとんどのアンケートで8～9割を占めた。
- ・ 発行頻度は「現状維持」が8割程度。ページ数については、どの調査でも6～8割程度が「今のままでよい」との回答であった。
- ・ 県政だよりの各コーナー別のボリュームも、すべてのコーナーで「今のままでよい」との意見が多数を占めたが、拡充の希望が多かったコーナーをあえて挙げれば、県の催しや募集・試験案内等を掲載している「お知らせ」欄が一番高かった。

注) 県政だよりについては、【別紙】のA～Eの5つの調査の結果。

#### (2) 県政テレビ、新聞広告、とりネットについて

- ・ 「毎回」又は「ときどき」見ているとの回答は、新聞広告は52%、県政テレビは38%、とりネットは32%であった。
- ・ 「今後、積極的に取り上げてほしい内容は」との設問には、いずれの媒体でも「催しや行事の案内、講座受講生の募集」が一番多く、続いて、「福祉、融資など各種の制度や手続き方法」、「各種試験の実施や申込情報」の順であった。
- ・ 今後、充実してほしいと希望する媒体は、県政だよりを除くと、新聞広告、テレビ、新聞折込チラシの3項目が高かった。

注) 県政テレビ、新聞広告、とりネットについては、【別紙】のCでのみ調査している。  
なお、この調査には約1,000件の回答があったが、その過半数は60代以上。

#### (3) 備考

県政だより(2月号)で読者向けにアンケートを実施予定です。

### 3 今後の取組

今後さらに、アンケート結果を世代別等で分析し、それぞれの媒体の特性を活かした広報を進めていく。

県広報についてのアンケート調査実施結果

●調査概要

調査対象	調査方法	実施日	回収状況	主な質問項目
A 鳥取県・鳥取環境大学連携講座「くらしの経済・法律講座」受講者	調査票への記入方式 (会場配布)	平成22年 11月8日	81.0%(受講生100人強、回答数81)	・地域情報入手手段 ・公の広報への関心度 ・県政だよりをどの程度読むか ・県政だより頁数 ・県政だより各コーナーの分量 ・県政だよりでとりあげる内容
B 県職員	庁内LANデータベース活用	平成22年 11月4日～ 11月12日	(回答数 1,057)	・地域情報入手手段 ・公の広報への関心度 ・県政だよりをどの程度読むか ・県政だより頁数 ・県政だより各コーナーの分量 ・県政だよりでとりあげる内容 ・県政だより発行頻度
C 県民のかた	調査票への記入方式 (郵送(個人を特定せず、県内の一部の地域の世帯・事業所に一律配布))	平成22年 12月上旬～ 12月19日	20.6%(配布数5,000、回答数1,031)	・地域情報入手手段 ・公の広報への関心度 ・県政だよりをどの程度読むか ・県政だより頁数 ・県政だよりでとりあげる内容 ・県政テレビ視聴頻度、とりあげる内容 ・新聞広告を見る頻度、とりあげる内容 ・とりネット閲覧頻度、とりあげる内容 ・今後充実を希望する広報媒体
D 県政参画電子アンケート会員	電子メール	平成22年 12月7日～ 12月20日	64.0%(会員283、回答181)	・地域情報入手手段 ・公の広報への関心度 ・県政だよりをどの程度読むか ・県政だより頁数 ・県政だより各コーナーの分量 ・県政だよりでとりあげる内容
E 警察音楽隊発足30周年記念「第10回ふれあいコンサート」	調査票への記入方式 (会場配布)	平成22年 12月18日	約3割(入場者1,500人程度、回答数433)	・地域情報入手手段 ・県政だよりをどの程度読むか ・県政だより頁数 ・県政だより発行頻度
F 県政だより読者	調査票への記入方式 (県政だより刷り込み・郵送)	平成23年 2月	(2月に調査実施)	・地域情報入手手段 ・県政だより各コーナーの分量 ・県政だより頁数 ・県政だよりでとりあげる内容

●調査結果

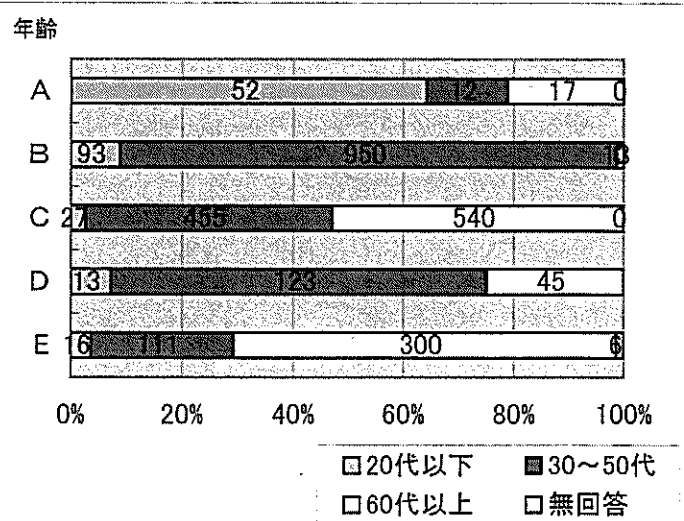
- ・A以外では、8～9割が県政だよりを「毎回」または「ときどき」読んでいる(Aでは5割弱)
- ・発行頻度は現状維持が8割程度(B, Eで調査)
- ・ページ数はどの調査でも6～8割程度が「今のままでよい」と回答

●属性

年齢	A	B	C	D	E
20代以下	52	93	27	13	16
30～50代	12	950	455	123	111
60代以上	17	13	540	45	300
無回答	0	0	0		6

性別	A	B	C	D	E
男性	52	768	291	100	93
女性	26	277	151	81	297
無回答	3		555		42
不明			3		1

居住地	A	B	C	D	E
東部	65	678	291	84	54
中部	10	173	151	48	349
西部	4	189	555	49	15
県外	2	13	3		3





●集計(概要)

問 県内や地域のニュース等の情報をどのような手段で知りますか？(複数回答)

(降順 上位5項目)

	A	B	C	D	E
1 新聞記事	新聞記事	新聞記事	新聞記事	新聞記事	新聞記事
2 テレビ(NHK)	テレビ(NHK)	テレビ(NHK)	テレビ(NHK)	テレビ	テレビ(NHK) 県政だより等広報 紙、パンフレット
3 テレビ(民放) 県政だより等広報 紙、パンフレット	テレビ(民放) 県政だより等広報 紙、パンフレット	テレビ(民放) 県政だより等広報 紙、パンフレット	テレビ(民放) 県政だより等広報 紙、パンフレット	テレビ(民放) インターネット (PC接続)	テレビ(民放)
4 紙、パンフレット インターネット インターネット (PC接続)	紙、パンフレット インターネット インターネット (PC接続)	紙、パンフレット	ケーブルテレビ	新聞折り込み	ケーブルテレビ

D:NHK・民放の区別なし

問 公の広報への関心度

(%)

	A	B	C	D	E
いつも関心を持って見る	12.3	23.7	38.5	38.7	
たまに関心を持って見る	50.6	64.1	50.3	52.5	
ほとんど見ない	35.8	12.2	9.2	8.3	
無回答	1.2			0.6	

「ほとんど見ない」が3割を越えているのはAのみ。(Aの回答者には若年層が多い。)

■県政だより

問 「とっとり県政だより」をどの程度ご覧になっていますか？

(%)

	A	B	C	D	E
毎回読む	22.2	45.4	50.0	59.1	62.4
ときどき読む	23.5	33.5	32.2	27.1	27.9
ほとんど読まない	21.0	17.5	13.0	11.0	6.0
まったく読まない	19.8	3.6			0.9
存在自体知らなかった	12.3		3.7	1.1	1.6
無回答	1.2			1.7	1.2

回答者に鳥取環境大学の学生を多く含むAで「存在自体知らなかった」が1割を越えている。

問 「とっとり県政だより」の発行頻度は

(%)

	A	B	C	D	E
今のままでよい		79.8			78.5
隔月発行でよい		12.1			8.3
3ヶ月に1回でよい		5.9			3.9
わからない		2.2			5.8
無回答					3.5

8割弱が「今のままでよい」と回答

問 「とっとり県政だより」のページ数について

(%)

	A	B	C	D	E
もっと多い方がよい	2.5	2.6	3.2	7.2	3.5
今ぐらいでいい	72.8	65.0	62.0	63.0	82.0
もっと少ない方がいい	9.9	23.3	20.9	18.2	8.3
わからない			10.7	8.8	
その他				2.2	
無回答	14.8	9.1	3.4	0.6	6.2

どのアンケートでも6~8割程度が「今ぐらいでいい」と回答。

30~50代の回答者が多いB、C、Dで「もっと少ない方がいい」が2割程度だが、20代以下の多いA、60代以上の多いEでは1割未満となっている。

問 今後、「県政だより」で積極的にとり上げてほしい内容は？(複数回答)

(件)

	A	B	C	D	E
各種試験実施、申込情報	20	85	274	17	
福祉・融資など各種制度 や手続き方法	13	217	557	23	
催事・行事案内、講座受 講生募集	31	282	572	65	
施策事業計画、意見募集	13	157	345	37	
地域活動、頑張る人々	12	264	417	26	
その他	3	30	36	12	
無回答	13			1	

どのアンケートでも催事などの案内の掲載要望が最も多い。2番目以降はアンケート毎にはばらつきが見られる。

問「とっとり県政だより」の各コーナーについて(複数回答)

◆調査Aの結果 (件)

	拡充	現状	縮小	なくす
特集・県政トピックス	6	59	5	0
広報課取材メモ	6	60	2	2
あの人この人	9	47	11	3
ととりの手仕事	13	49	7	1
お知らせ等	20	47	3	0
とっとり味自慢	14	45	7	4

◆調査Bの結果 (件)

	拡充	現状	縮小	なくす
特集・県政トピックス	61	734	218	23
広報課取材メモ	142	746	82	62
あの人この人	114	752	99	70
ととりの手仕事	80	656	225	73
お知らせ等	255	655	112	15
とっとり味自慢	129	625	186	101

◆調査Dの結果 (件)

	拡充	現状	縮小	なくす
特集・県政トピックス	7	144	20	6
広報課取材メモ	31	125	15	9
あの人この人	19	135	12	14
ととりの手仕事	29	120	24	7
お知らせ等	54	106	14	5
とっとり味自慢	25	111	26	13

(調査Cでの県政だより以外の媒体等についての概要)

■県政テレビ「とっとりTRY！」

問 県政テレビ「とっとりTRY！」をどの程度ご覧になっていますか？

ほぼ毎回見る	6.8%
ときどき見る	31.5%
知っているがほとんど見ない	27.9%
存在自体知らなかった	33.8%

今後、県政テレビ「とっとりTRY！」で積極的にとり上げてほしい内容は？(複数回答)

各種試験実施、申込情報	187件
福祉・融資など各種制度や手続き方法	363件
催事・行事案内、講座受講生募集	526件
施策事業計画、意見募集	303件
地域活動、頑張る人々	438件
その他	51件

■新聞広告「鳥取県からみなさまへ」

問 新聞広告「鳥取県からみなさまへ」をどの程度ご覧になっていますか？

(日本海新聞と山陰中央新報に毎月第2、第4木曜日に掲載)

ほぼ毎回見る	17.2%
ときどき見る	34.4%
知っているがほとんど見ない	7.1%
存在自体知らなかった	41.3%

今後、新聞を使った広報「鳥取県からみなさまへ」で積極的にとり上げてほしい内容は？(複数回答)

各種試験実施、申込情報	280件
福祉・融資など各種制度や手続き方法	463件
催事・行事案内、講座受講生募集	589件
施策事業計画、意見募集	349件
その他	57件

■鳥取県公式ホームページ「とりネット」

問 鳥取県の公式ホームページ「とりネット」をどの程度ご覧になっていますか？

ほぼ毎日見る	4.3%
ときどき見る	27.9%
知っているがほとんど見ない	22.6%
存在自体知らなかった	45.1%

今後、鳥取県ホームページ「とりネット」で積極的にとり上げてほしい内容は？(複数回答)

各種試験実施、申込情報	267件
福祉・融資など各種制度や手続き方法	378件
催事・行事案内、講座受講生募集	428件
施策事業計画、意見募集	315件
地域活動、頑張る人々	250件
その他	94件

■ 今後、充実してほしいと希望する媒体について

鳥取県では、県の施策をはじめ、催し、試験、募集などの情報を、広報紙やテレビ、新聞など様々な媒体を通じて県民の皆様へお伝えしていますが、今後、充実してほしいと希望する媒体(手段)について、以下の中から3つ以内でお答えください。

広報紙「県政だより」	590 件
新聞広告	377 件
新聞折り込みチラシ	290 件
テレビ番組(民放)	367 件
テレビ番組(ケーブルテレビ)	177 件
テレビCM	149 件
ラジオ番組(民放)	52 件
ラジオCM	39 件
インターネット(パソコン版ホームページ)	164 件
インターネット(iモードやEZウェブなどの携帯電話版のHP)	31 件
インターネットの配信メール	22 件
その他	33 件